



校訓

**強い心 強い体**

玉造中学校だより No. 9

令和3年12月3日 発行

在籍：男143：女：145 計288名

## 2021年の締めくくりの月となりました

12月は「師走」と呼ばれます。その昔、日本には年末にお経を上げてもらう風習があったようで、師匠である僧侶がお経をあげるために、東へ西へと馳せることを意味する「師馳す(しはす)」が転じたものだといわれています。師=先生として、「先生が忙しい」という解釈は、現代に当てはめたものらしいですが、12月に入るとなんとなくせわしく感じるのは、先生に限ったことではなく、世の中が全体的に慌ただしくなるような気がします。

新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらの学校生活も9か月目になりました。振り返ると、9月の臨時休業とオンライン授業。10月に学校が再開してから少しずつ「学校生活の日常」が戻り、学校行事も実施することができました。

### 県東地区新人戦や駅伝競走大会

は、無観客の中でしたが、実施することが決まったときにはほっとしました。生徒たちは、短い練習期間でもできることに精一杯取り組み、力を出し切りました。

**かすみ祭の合唱コンクール**は、午前中開催という縮小しての開催となりました。例年よりも練習期間が1か月間短く、感染症予防対策をしながら練習でしたが、素晴らしい歌声を披露してくれました。保護者の皆さんには、鑑賞する際の完全入れ替え制にご協力いただきました。たとえわずかな時間でも、保護者の皆さんに聴いていただける機会をもてたことは、生徒たちにとって何よりの励みになったはずです。

**3年生の修学旅行**が1泊2日で実現しました。車窓から移り変わる景色の変化に、生徒たちの気持ちが高ぶっていくのを間近で感じました。何よりの思い出となりました。

**行事の実施**に関しては、これまで通りとはいかないということを理解し、何とか実現しようと生徒や保護者の皆さん、教職員全員でそれぞれの思いを共有して取り組んだ成果です。行事を通して、生徒一人一人の成長と「自立」に向かう姿を見ることができました。玉造中全員が感染症対策を意識しながら取り組んできたこと、保護者の皆様のご理解とご協力、温かい地域の皆さんの見守りのおかげです。

**思春期（中学生）のこの時期**は、仲間と共に何かを作りあげたり、1つの目標を達成したりするために様々なことを学ぶ大切な時期であると考えています。意見を合わせるために、時には衝突することもあります。苦勞もたくさん経験しますが、生徒たちは、それを乗り越えた先に得られるものがあることやその価値の大きさを知っています。そうは言っても、未熟な一面をもっていますので、くじけそうになったり、弱音をはいたり、迷ったりすることがあります。時には声をかけ、時には話を聞き、また時には、一人で乗り越えるのをそっと見守ることが必要になることもあります。不安定になりがちな時期に、コロナ禍も加わり、より不安に感じることもあるかもしれません。学校でも全職員で見守っていますが、ご家庭でも、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

**新型コロナウイルスの感染状況**は、全国的に収束の兆しが見えはじめたところで、デルタ株の感染拡大に加え、オミクロン株の拡大が世界中に広がりつつあります。日本での感染拡大も心配される中ですが、これまで通り**感染症予防対策**をして、「学校の日常」を保てるように、引き続き学校と家庭とが連携して取り組んでいきましょう。2学期も残りわずかとなりましたが、生徒共に充実した学校生活を送れるよう全職員で取り組んでいきます。また、これまでの取り組みに関して、振り返りをして、今学期のまとめと共に3学期に向けて新たな準備を始めます。

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

行方市立玉造中学校

令和3年5月27日に中学校第3学年を対象に実施された「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要をお知らせします。

### ○ 調査結果の概要

#### 1 教科に関する調査

##### (1) 国語

- ・「話すこと・聞くこと」における話合いの話題や方向を捉えること、質問の意図を捉えることができています。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における文脈に即して漢字を正しく読むことができています。
- ・「読むこと」における文脈における語句の意味を理解することに課題があります。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題があります。

##### (2) 数学

- ・「関数」の領域における与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができています。
- ・「資料の活用」の領域におけるヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができています。
- ・「資料の活用」の領域におけるデータの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。
- ・「図形」の領域における平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することに課題があります。

#### 2 生徒質問紙による調査

- ・人の役に立つ人間になりたいと思う気持ちが高まっています。
- ・自分でやると決めたことはやり遂げることや他者との協力性が高まっています。
- ・授業以外での学習習慣や計画的に家庭学習をすることには課題があります。
- ・朝食の摂取やゲーム・SNS等の使用時間に課題があります。

### ○ 本調査結果に基づく改善点

#### 1 計画的な学び直しの時間の設定と評価の実施

課題となった内容について、計画的に学び直しの時間を設定して評価を行い、方法を改善しながら基礎的な学力の定着を図ります。

#### 2 個別最適な学びと協働的な学びの推進

「評価からの授業改善」をとおして、生徒の実態や学習の系統性を意識した指導 ICTの効果的な活用、個に応じた指導の工夫、生徒主体の授業実践をします。

#### 3 学力向上におけるアプローチ・スタートカリキュラムの実施

課題となる内容について、学校間や学年間の接続の時期において補足的な学習を計画的に行い、既習事項の確実な習得を図ります。

